土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一級河川江の川水系国兼川測量設計地質調査業務委託（河川改修・単独）

事業名 または 工事名　一級河川江の川水系国兼川

調査目的及び調査対象　河川 橋梁・高架

ボーリング名	№.2	**調査位置**	広島県庄原市山内町			**北緯**	34° 49′ 52.5771″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			**調査期間**	2019年 10月 17日 ～ 2019年 10月 18日	**東経**	132° 57′ 18.4814″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 221.23m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°	**使用機種**	**試錐機**	YBM YSO-1WA		
総削孔長	10.00m								**エンジン**	ヤンマーNFD10	**ポンプ**	GP-5

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	219.53	1.70		礫混り砂		暗褐灰	rd1			盛土。 地面は、アスファルト舗装。 礫は、φ2～30㎜程度の、亜角礫～亜円礫。 全体に、少量の細粒分を混入する。	
2				砂混り粘土		暗灰		rc2		全体に細～粗砂が少量混入する。 軟質で、粘性強い。 僅かに有機物が混入する。	10/18 3.70
3	216.83	4.40									
4	216.73	4.50		礫混り砂		暗灰				礫はφ50mm程度までの亜角礫～亜円礫。 砂は細砂主体。 細粒分を含んで軟質となっている。	
5	216.23	5.00		砂岩		青灰～淡青灰				採取コアは土砂状～短柱状となる。 粗粒の砂岩。 φ30mm程度までの角礫～亜角礫を少量含有する。	
6											
7				礫岩		淡青灰				採取コアは礫状～L=20cm程度の短棒状となる。 礫種は不均一。 含有礫径はφ2～15cm程度。 マトリックスは粗粒砂岩主体。	
8											
9											
	211.23	10.00									

標準貫入試験

深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	N値
1.15	1	1	2	4/300			4
1.45							
2.15	1	1	1	3/300			3
2.45							
3.00	自沈			0/500		500	0
3.50							
4.15	0	0	1	1/300			1
4.45							
5.00	貫入不能			50/0			
5.00							
6.00	貫入不能			50/0			
6.00							
7.00	貫入不能			50/0			
7.00							
8.00	貫入不能			50/0			
8.00							
9.00	貫入不能			50/0			
9.00							
10.00	貫入不能			50/0			

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験 室内試験	削孔月日
				10/17
				10/18